

仙台東部地域における農業復興の現状と課題

仙台農業協同組合
震災復興・総合企画部

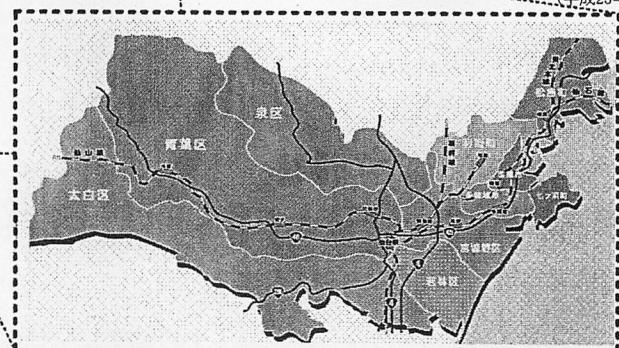


Copyright (C) 2011 JA Sendai All Rights Reserved.

JA仙台の概況

正組合員数		12,977名(9,404戸)
准組合員数		11,132名(9,511戸)
総代数		501名(うち女性総代 57名)
役員数	理事: 監事:	30名(うち女性 2名常勤 5名) 5名(うち常勤 1名)
職員数	正職員: 有期契約・嘱託職員: 合計:	565名 44名 609名

(平成23年3月末現在)



Copyright (C) 2011 JA Sendai All Rights Reserved.

被災者の状況(宮城県版より)

	死亡者	うち 組合員	うち 認定農業者	行方不明者	うち 組合員	住宅被害 全壊	うち 組合員
仙台市	704	108	2	26	11	23,166	1,008
塩竈市	20	0	0	1	0	682	-
多賀城市	188	7	0	1	0	1,687	11
松島町	2	2	0	0	0	215	5
七ヶ浜町	70	16	0	5	2	729	230
利府町	46	0	0	0	0	0	0
合 計	1,030	133	2	33	13	26,479	1,254

Copyright (C) 2011 JA Sendai All Rights Reserved.

平成23年10月31日現在

被災直後のライフライン

- 電気・水道・ガスの停止
- 道路破損、土砂崩落
- 交通の機能不全 etc
- ⇒ インフラは壊滅的なダメージ
- 物流の遮断
- 不安からの買占め(食料品・ガソリン)
- スーパー・コンビニの閉店
- 食料品の価格が急騰(ex.米3,000円/5kg)



Copyright (C) 2011 JA Sendai All Rights Reserved.

米の緊急販売(JA仙台)①

- ◆ 食糧不安の中で、日常の落ち着きを少しでも取り戻してもらう為の活動
- ◆ 3月19日(土)10時~12時
⇒7時には1,000人を超える長蛇の列
- ◆ 仙台市役所前 市民広場
- ◆ ササニシキ5kg(1,500円)
- ◆ 1,500袋用意
- ◆ 1時間半で完売

Copyright (C) 2011 JA Sendai All Rights Reserved.

米の緊急販売(JA仙台)②

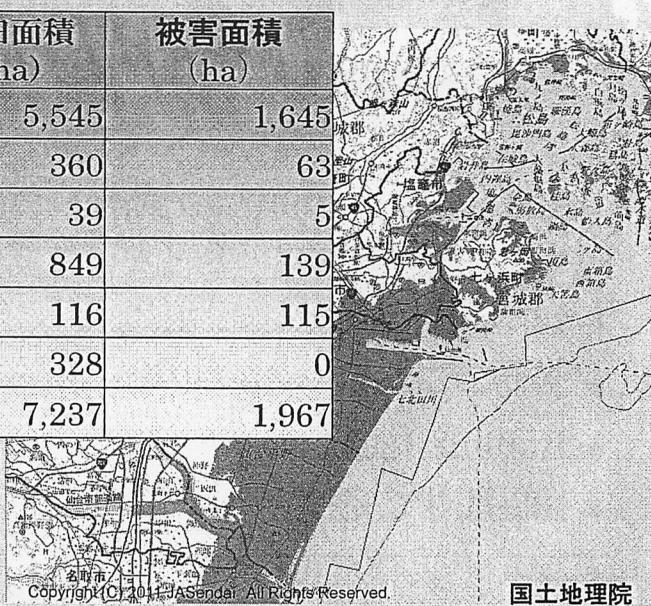
河北新報

3月19日 河北新報



津波被害の状況(JA仙台管内)

市町村名	水田面積 (ha)	被害面積 (ha)
仙台市	5,545	1,645
多賀城市	360	63
塩竈市	39	5
松島町	849	139
七ヶ浜町	116	115
利府町	328	0
合 計	7,237	1,967



国土地理院

津波被害の状況(仙台市)



震災前の七郷荒浜地区



Copyright (C) 2011 JA Sendai All Rights Reserved.

震災後の七郷荒浜地区



Copyright (C) 2011 JA Sendai All Rights Reserved.

農業被害の状況(仙台市)

- 農業用機械施設

- トラクター、田植機等…約2,400台
- パイプハウス・温室…約100,000m²



- 共同利用施設

- JA仙台七郷カントリーエレベーター
- JA仙台七郷大豆センター…浸水・一部損壊

- 土地改良施設

- 排水機場4箇所…壊滅



Copyright (C) 2011 JA Sendai All Rights Reserved.

次々に顕在化する課題

- 津波による家屋の瓦礫・流木、堆積土砂が農地へ流入
- 塩分濃度が高く植物の生育に不適な農地に雑草が繁茂
- 堆積土砂等の撤去に伴う作土の減少
⇒営農再開への道のりは険しい

津波被害を受けた水田における経営再建の道のり

ステップ1

用排水路の土砂上げ
がれきの除去
除塩

ステップ2

土づくり
簡易な碟の除去
水路・あぜ等の
簡易な補修

ステップ3

作付開始
米・麦・大豆など

災害復旧事業

経営再開支援事業

戸別所得補償制度

作業員として雇用

復旧作業に従事

農産物代金+所得補償交付金

農林水産省

Copyright (C) 2011 JA Sendai All Rights Reserved.

被災農家を取り巻く課題

- ◆ 家屋 等の流失により生活基盤を失っている。
- ◆ 農地が甚大なダメージを受け、また農業機械や農業施設が流失している事により農業収入の基盤を失っている。



JA仙台として何をするのか

- 組合員に営農・生活の「日常」を取り戻す「復旧」に最善の努力を払い、対応を行う。

(東日本大震災復旧・復興対策 基本方針より抜粋)

Copyright (C) 2011 JA Sendai All Rights Reserved.

JA仙台 東日本大震災復旧・復興対策基本方針

(平成23年6月 策定)

1. 組合員の営農と生活

- (1) 農業を通じた雇用創出と収入確保
- (2) 被災者向け金融サービスの提供、特別商品の開発
- (3) 本店、支店、営農センターにおける総合的な相談機能の拡充・強化
- (4) 集落（コミュニティ）機能の維持、集落営農体制の再構築

2. 地域農業の再生と再興

- (1) 行政と一緒にとなった農地の早期再生と活用サポート
- (2) 被災農家、組織の経営資源状況に応じた支援策の実施
- (3) 農地のあっせん、遊休農地の活用、中古農機具や施設の活用
- (4) 稲作・園芸作物・畜産の最適な生産方法の検討
- (5) 農業担い手、集落営農組織などの再構築を通じたグランドデザイン（全体構想）の策定

3. 農業協同組合としての事業・経営

- (1) 震災復興対策本部および震災復興推進課の設置、被災地域の支店機能の強化
- (2) 支店・施設等の被害状況に応じた復旧計画の策定・実施
- (3) 経営計画・事業推進計画の見直し
- (4) 総合的な収支バランスの確保と中長期的課題の検討
- (5) 被災組合員への柔軟な対応施策と新たな事業の創出

Copyright (C) 2011 JA Sendai All Rights Reserved.

震災に対する体制整備①

《JA仙台の内部体制》

- ◆ 東日本大震災災害対策本部の設置(3/11)・・総務部主管
- ◆ 震災対応専属部署の設置(5/1)
→震災復興・総合企画部
- ◆ 震災復興対策本部の設置(5/1)
・震災復興・総合企画部主管
- ◆ 震災復興特別委員会の設置
・常務及び非常勤理事で構成

Copyright (C) 2011 JA Sendai. All Rights Reserved.

被災者に対する営農・生活支援



- ◆ 避難所として支店会議室の提供(3/11～)
- ◆ 青年部・女性部による避難所での炊き出し(3/12～)
- ◆ 避難所へのプロパンガスの優先提供(3/12～)
- ◆ 組合員の罹災状況の確認(3/14～)
- ◆ 飯米の確保、支援米・支援物資の提供(3/19～)
- ◆ 避難所における日帰り入浴支援(3/21～)
- ◆ 農業機械の無償修理(5/1～)
- ◆ 津波により流失した肥料・農薬の未請求措置(6/6～)
- ◆ 復旧復興資金メニュー表(パンフレット)の作成(8/10)
- ◆ 仮設住宅における新米試食イベントの実施(10/26)
- ◆ 農業機械・パイプハウスのリース支援(取りまとめ中)

Copyright (C) 2011 JA Sendai. All Rights Reserved.

放射性物質対策

宮城県で検査を行っているが、個別の要望に対応できない等で消費者の不安や風評被害を十分には解消できていない

→ 行政や大学と連携して自主検査を実施

■8/1より仙台市と合同で1週間に3種類の野菜を調査
⇒実施から放射性物質は検出されず(下限値10Bq/kg)

■10/1より東北大学大学院環境科学研究科と連携して、放射性物質の土壤から農産物への移行に関する研究を実施

※ 米に関しては、宮城県が2度の検査(予備調査・本調査)を実施しており、県内全ての調査地点で暫定基準を下回り、9/29に出荷自粛が解除されている

Copyright (C) 2011 JA Sendai All Rights Reserved.

震災に対する体制整備②

《行政及び関係機関との体制整備》

仙台東部地区農業災害復興連絡会を4月5日に設置
(10月までに9回の会議を開催)

◆JA仙台、仙台市、仙台東土地改良区の3者が合同
その後に東北農政局及び仙台地方振興事務所が参加

◆目的

➢農業関連情報の共有化や行動の迅速化を目的

◆内容

- 被災農家への情報周知
- 農地の復旧
- 農家意向の把握
- 復興計画の策定

上記について、対策チームにより取り組んできた

Copyright (C) 2011 JA Sendai All Rights Reserved.

農家意向調査①

- ◆【調査対象】農地が被災した農業者 941戸
- ◆【調査期間】4月28日～7月31日
- ◆【調査件数】総計585戸(対象農家の62.2%)

3. 今後の営農について

質問2 今後の営農について

- ①継続したい(・拡大・現状維持・縮小) ②やめたい ③わからない

質問3 質問2で「継続したい」と答えた方で、その方法は?

水田: ①個別営農 ②集落営農(集団転作のような営農方式) ③その他()

畑: ①個別営農 ②集落営農(集団転作のような営農方式) ③その他()

質問4 質問2で「縮小」又は「やめたい」と答えた方で、今後所有農地をどのようにしたいか

- ①売りたい(誰に?) ②貸したい(誰に?) ③自分で転用

4. 東部有料道路から東側の農地について

①大規模区画の再開墾整備を行い、農地(水田・畑・両方とも)として利用していきたい

②現状と同じ規模の農地に復元し、農地(水田・畑・両方とも)として利用していきたい

③農地以外に活用を図りたい

④所有していない

5. 今後の住まいについて

①前と同じ場所に住みたい

②より安全な場所に、個別に移転したい

③より安全な場所に、集落ごと移転したい

Copyright (C) 2011 JA Sendai All Rights Reserved.

農家意向調査②

今後の営農意向について

- 現状維持 ■拡大 ■縮小 ■やめたい ■わからない ■無回答



8割弱が営農の継続を希望している

営農の継続方法(水田)

- 集落 ■個別 ■その他 ■無回答



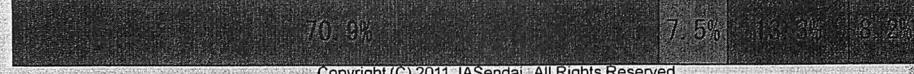
営農の継続方法(畑)

- 個別 ■集落 ■その他 ■無回答



今後の住まいについて

- 前と同じ場所に住みたい ■個別に移転 ■集落で移転 ■無回答



Copyright (C) 2011 JA Sendai All Rights Reserved.

復旧・復興の課題①

1. 生活基盤の確保

生活の拠点が決まらなければ農業について
考えられない

⇒防災集団移転促進事業

移転先が決まらない、移転先との価格差の問題

2. 生産基盤の再生

農地や農業機械、農業関連施設の流失により
生産基盤が失われている

⇒東日本大震災生産対策交付金

5戸以上(知事特認3戸以上)の農家で組織する団体にし
か適用されないため、利用が伸びない課題も。

Copyright (C) 2011 JA Sendai All Rights Reserved.

復旧・復興の課題②

3. 地域農業の復興

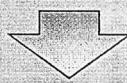
⇒担い手の高齢化・中核的人材の不足?

⇒集落機能が不全に?

・地域農業復興組合の設立

(仙台東部地域: 中田・六郷・七郷・高砂)

・地域によってはコミュニティ機能の低下が懸念



•多くの課題が仙台東部エリアの
復旧・復興の妨げに

Copyright (C) 2011 JA Sendai All Rights Reserved.



今後の農業の方向性①

- ・宮城県震災復興計画(10月策定)
 - > 土地利用調整による農地の面的集約と経営の大規模化
 - > 稲作から施設園芸への転換・畜産の生産拡大
- ・仙台市震災復興計画(中間案)(9月策定)
 - > 「農と食のフロンティア」と位置づけ

●農地の復旧と再生

- ・農地のがれき撤去、用排水路や排水機場の復旧、農地の除塩対策を進める

●農業者の経営基盤強化支援

- ・大規模は場整備などによる生産基盤の強化、農業法人化や民間資本との提携支援

●都市近郊農業の展開

- ・優れた生産技術を有する農家による家庭菜園などの運営指導、観光的視点を取り入れた農園など、サービス産業としての農業の在り方の検討、その実現や参入に向けた支援の実施

●6次産業化の促進

- ・農業の高付加価値化、高度化促進のための食品加工、流通、販売への参入支援

先進的な農業拠点のイメージ

出所：仙台市

Copyright (C) 2011 JA Sendai All Rights Reserved.

今後の農業の方向性②

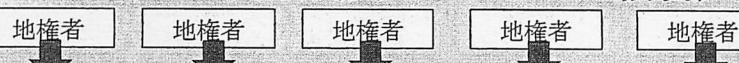
- 平成16年度に21世紀水田農業チャレンジプラン（工藤昭彦監修）を策定済み
 - 農業経営体の育成
 - テナントビル型農場制農業の実践
- ◆ 同チャレンジプランをもとに、担い手の育成、稲作から園芸への転換、畜産の導入等といったグランドデザインを策定する予定

〔JA版構造改革特区のイメージ図〕



Copyright (C) 2011 JA Sendai All Rights Reserved.

東部地域の農業展開イメージ（JA仙台）



農地管理組織

【再圃場整備】・【農地管理】・【事業運営】

水田

- ・大規模水田ゾーン
- ・集落営農組織
- ・農業生産法人
- ・認定農業者

- ・生きがい水田ゾーン
- ・個別農業者

畑

- ・露地栽培ゾーン
- ・農業生産法人
- ・個別農業者

- ・大規模園芸施設ゾーン
- ・農業生産法人

その他農地

- ・レクリエーションゾーン
- ・市民農園等

- ・ふれあい畜産ゾーン
- ・ふれあい農場

- ・組織管理ゾーン
- ・担い手不在農地等
- ・農業生産

加工・販売（六次産業化）

※農地の所有権と利用権を切り離す事で公共性を高め、受益者負担実質ゼロを目指す。
※現行法では特区制度等を活用しなければ実施不可能なものも含む。

Copyright (C) 2011 JA Sendai All Rights Reserved.

国と仙台市による取り組み

- ◆ 災害復旧と関連して、国が圃場整備を直接行う事業の創設(直轄特定災害復旧事業 仙台東部地区)
- ◆ 国・県が事業費の約98%を負担
- ◆ 農地の区画の大規模化や集約化など、国直轄による圃場整備事業を迅速かつ円滑に実施するため、農業者負担分約2%を仙台市が負担

「地域の未来へ ～仙台東地区」東北農政局・仙台市・JA仙台・仙台東土地改良区 より抜粋



- 受益者負担ゼロでの圃場整備が実現可能に

Copyright (C) 2011 JA Sendai All Rights Reserved.

過去の圃場整備での課題①

《JA仙台管内 直近の圃場整備》

- ◆ 県営圃場整備事業
七郷第3地区 (工期:昭和48年～平成3年)
- ◆ 県営土地改良総合整備事業
鍋沼 (工期:平成1年～平成7年)



- 当時浮上した
課題は何だったのか？

Copyright (C) 2011 JA Sendai All Rights Reserved.

【資料出所：仙台東土地改良区】

過去の圃場整備での課題②

当時の圃場整備に関わった

当時の換地委員や地権者(3名)にヒアリングを実施

- ◆ 減歩が嫌で不同意の地権者が数名存在した
- ◆ 圃場整備(ハード事業)を実施するには至ったが、換地の際に不平不満が噴出
⇒ 不同意の地権者のいる圃い(区画)は受け取りたくない
⇒ 少しでも不利な土地には換地されたくない
(※当時は換地委員がマイナス部分を引受け)



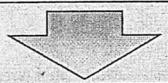
『農地は地権者の財産』
という事を忘れてはいけない

Copyright (C) 2011 JA Sendai All Rights Reserved.

農協に何が求められているのか？

《圃場整備について》

- ◆ 大変なのは分かるが、地権者の一人ひとりと、出来るだけ対話をして欲しい
- ◆ 圃場整備だけされても、自分たち(現在の世代)が農業を出来る時間は限られている
だから、出来るだけ次の世代との対話の場も設けて欲しい



農協は『森を見て木を見ず』ではダメ！

Copyright (C) 2011 JA Sendai All Rights Reserved.

今後の課題

圃場整備事業が進展し、換地が行われる際に
同様の課題が出てくる可能性が高い

→ 農協として一人ひとりの組合員や、その次世代層と対話の機会を持ち、小さな意見を積み上げる取り組みが必要ではないか？

■12月のJA仙台21世紀水田農業チャレンジプラン推進協議会に向けて、チャレンジプランを基礎にした今後の農業のあり方を考えていく資料を作成予定

⇒組合員に向けて将来が見える農業のあり方を提示していく

Copyright (C) 2011 JA Sendai All Rights Reserved.